

## 一般廃棄物処理基本計画（改訂版）素案の修正箇所について

## 1 一般廃棄物処理基本計画（改訂版）素案に対する意見一覧

○十分な議論がなされて作成されていると思います。

○2 ページ 図

図に、図番号とタイトルを記載すべきでは？

○3 ページ 図

図に、図番号とタイトルを記載すべきでは？

○9～10 ページ 表3-1-1

基本計画全体の用語統一という意味で、下記のように修正されては？

家庭系一般廃棄物 → 家庭系ごみ

事業系一般廃棄物 → 事業系ごみ

○14 ページ 2行目

基本計画全体の用語統一という意味で、下記のように修正されては？

家庭系の生活ごみ → 生活に伴って排出される家庭系ごみ

○17 ページ 3行目

「資源化量」と「資源ごみの量」とは異なることを、下記のように明記されてははいかがでしょうか。

表3-1-3に示すとおりです。

↓

表3-1-3に示すとおりです。なお図3-1-9に示すように、資源化量とは、「資源ごみの量」から「各処理施設から発生する異物等の量」を差し引いたものです。

○28 ページ 1行目

ごみの発生抑制については、衣食住ともに物があふれている現状をどうするかが解決の方法か  
と思います。

○29ページ 20行目

地球温暖化防止の為、焼却ごみを減らす必要性を、市民を巻き込んで共に考える場を持っていくこと、発生抑制と再使用について、もう一度考えてみる。

食料についても、安いからと買いすぎで、つくり過ぎない。

衣料も安くても大切に使う。

住居の道具も同じ。

限りある資源である事を再認識したいと思います。